

鬼柳 暁さん (平成2年卒)

鬼柳オートサービス 社長

◇お仕事の内容を教えてください

自動車の修理・整備、新車・中古車の販売等を行う会社の代表を務めています。

◇仕事を通じて、どんなことに喜びを感じますか

お客様に喜んで貰ったことに喜びを感じるのはもちろんですが、そこに至るまでの過程、自動車修理であれば、原因が疑われる箇所を一つ一つ確認し、推論を立てながら、修理が必要な箇所を理詰めにて特定出来た時の喜びは、堪らないですね。

◇将来の夢を教えてください

若い頃から、仕事を通じて感じているのは、自分は様々な人に助けられてきた、という思いです。現在、業界組織の役員職をいくつも引き受けているのも、自分が受けた恩を何かのかたちで返したい、との思いがあるからです。今、自動車業界は、電動化・自動化等、大きな技術革新の真っ只中にあり、業界に属する人達の知識・スキルアップは必須です。業界組織の役員の一員としてそれらの課題解決に力を注ぎたいと考えています。



◇専大北上高校ではどんな高校生活を過ごされましたか

部活動には所属していませんでしたが、自動車科の仲間と毎日楽しい時間を過ごしていました。思い出は、先輩たちが残していたバギーカーを父親の経営する工場仲間と一緒に改造して走れるようにしたことですね。フレームを付けて格好良くして、学園祭の時に校庭で走らせてました。楽しかったな。

◇専北生に伝えたいメッセージは何ですか

とにかく友達をたくさん作れ、ということですね。専北は、自動車科だけでなく、商業科、普通科と異なる科の生徒もいる。違う科の子達とも話をする中で、自動車科では習わない知識を得ることが出来たり、違った視点の考え方に触れることが出来る。当時の友達との関係は今でも続いています。

☆取材後記

幼稚園児の頃から、工場での先代社長の背中を見ながら育ち、機械いじりが好きになったという鬼柳さん。その後、実家に就職し、先代社長と共に働くようになってから感じたことが「人は人に支えられて生きている」という思いだったとのこと。今ではその恩返しにと業界組織の複数の役員を引き受けられ、また、玄関脇には「子ども110番」の表示もありました。「報恩奉仕」という建学の精神を純粹に実践されている鬼柳さんでした。